

PRESS RELEASE

福岡市総合図書館所蔵

「上野英信自筆資料・原稿」のデジタル画像を公開

1 概要

福岡市総合図書館は、大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館（以下、「国文研」という。）による近代文学者草稿のデジタル化プロジェクトの一環として、国文研と共同で、当館が所蔵する上野英信（うえの・えいしん）の自筆資料・原稿の高精細デジタル化に取り組んでおり、令和6年5月から国文研の「国書データベース」にて公開しています。詳細は、[国文研との共同リリース](https://www.nijl.ac.jp/news/img/20240524_release.pdf) (https://www.nijl.ac.jp/news/img/20240524_release.pdf) をご覧ください。

当館は、令和6年3月31日現在、仮整理済分、未整理分を含め1万枚余の上野英信自筆資料・原稿を収蔵しており、このうち2,146枚を公開しています。

2 福岡市総合図書館における「福岡市文学館」事業

福岡ゆかりの文学に関する資料を収集し、市民向けの文学講座や、1階ギャラリーにおいて常設展示、企画展示を行う「福岡市文学館」事業を実施しています。

福岡市文学館収蔵品展示「上野英信の仕事 1. 絵ばなし」

国文研との共同事業によるデジタル画像の公開を記念して、普段なかなかお披露目の機会のない上野英信原稿資料のうち、1950年代の「絵ばなし」の仕事を中心に紹介しています。

(1) 日時 開催中〔令和6年5月30日(木)まで。5月27日(月)は休館。〕

平日・土曜日 10時～19時、日曜日 10時～18時

(2) 会場 福岡市総合図書館1階ギャラリー（福岡市早良区百道浜 3-7-1）

(3) 観覧 無料

※ 国文学研究資料館（国文研）

日本文学・日本史研究の拠点として昭和47年（1972年）に国立の機関として発足。平成15年（2003年）の国立大学法人法制定に伴い大学共同利用機関法人となる。

※ 国書データベース

国文研が運営する古典籍及び近代文献資料の書誌情報と高精細画像を一度に検索利用できるデータベース。



福岡スタンダード～福岡の子どもたちに大切にしてほしいこと～

生活習慣の柱

あいさつ・掃除

学びの柱

自学・とも学

未来への柱

チャレンジ・立志

〈問い合わせ先〉

総合図書館文学・映像課

担当：高巢（たかす）、矢羽田（やはだ）

電話 092-852-0606（直通）

FAX 092-852-0609

✉ bungakukan@city.fukuoka.lg.jp